



株式会社 円谷プロダクション
ウルトラマンランド施設長

高田昌範さん

たかだ・まさのり 昭和51年生まれ、宮内在住。好きなウルトラマンのキャラクターは、深みのあるストーリー展開に定評のあるウルトラセブンとメロン星人。

9月1日、平成8年の開園以来多くの人に愛されてきたウルトラマンランドが17年の歴史に幕を下ろすことになりました。荒尾の地で夢や希望を与え続けてきてくれたウルトラマンランド。その施設長を務めるのが高田昌範さんです。

「多感な時期の子どもたちに影響を与える仕事をしてこれたのは、楽しかったし、とてもやりがいがありました」と、高田さんは今までを振り返り、感慨深く話します。

「ウルトラマンを通して来園者の心に残ることをしたい」という思いから、スタッフの接客やイベントの内容に力を入れてきたウルトラマンランド。ライブステージに出演してウルトラ戦士と共に闘うキッズ警備隊などの参加型のイベントやキャラクターとの写真撮影会などの触れ合い型のイベントで、子どもたちに夢を与えてきました。その結果、国内外から訪れる来園者に満足してもらえるイベントを開催することができました。また、毎日行われるライブステージは、アクションやストーリーの質が高く、見応

えがあり、全国でもトップレベルのショーとして大好評です。

「大人にもライブステージを見てほしい」と、高田さんは話します。ウルトラマンは強くてカッコいいだけではなく、悩みながらも戦い、夢や希望、諦めない心など生きていく上で大切なことを大人に再認識させてくれる存在でもあるのです。

「いつかまたウルトラマンと夢を与える仕事ができたら」と、語る高田さんも、悩みながら戦い、ウルトラマンから夢をもたらした一人です。「そのときは、須賀川市※のように、荒尾市とウルトラマンの故郷『光の国』が姉妹都市提携し、互いの魅力を発信していけたら素敵ですね」と、笑顔を見せました。

ウルトラマンとの思い出が来園者の記憶に残るように、たくさんの笑顔に出会えるように、ウルトラマンやスタッフと共に、高田さんは残された期間を全力で駆け抜けます。

ウルトラマンの勇姿を真近で見られるのもあとわずか。忘れられない一生の夏の思い出づくりにウルトラマンランドへぜひ遊びに来てください。

※円谷プロダクション創始者円谷英二さんの故郷福島県須賀川市は、ウルトラマンの故郷『光の国』と姉妹都市提携しています。



1_ 迫力満点のライブステージ! 上海万博の際は、県代表としてショーを行いました。2_ 毎日ウルトラマンと記念写真を撮ることができます。3_ 荒尾市観光キャンペーンキャラバン隊として、荒尾市のPR活動にも参加してもらいました。